

# 1. 市外からの来訪者アンケート調査結果

## 1.1 調査の概要

### (1) 調査の概要

市外からの来訪者による市内での移動の実態や満足状況、ニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査方法・回収数

- ・調査対象 WEB アンケート事業者が保有しているモニターのうち、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県に在住し、印西市へ来訪したことのあるモニターを対象としました。また、男女は同数としました。
- ・調査期間 令和元年 10 月 18 日～10 月 23 日
- ・回収数 300 票

## 1.2 回答者の属性

### (1) 性別・年代

・男性は 40 歳代から 60 歳代、女性は 30 歳代から 50 歳代の回答者の割合が比較的高く、回答者の中心を成す年代です。

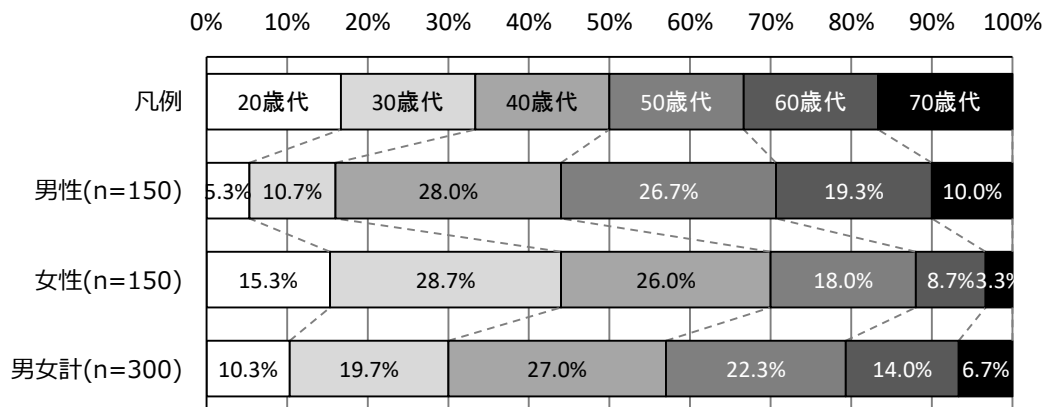


図 1 回答者の性別・年代

## (2) 居住地

・千葉県が134人（全体の44.7%）と最も多く、次いで、東京都が86人（28.7%）などとなっています。

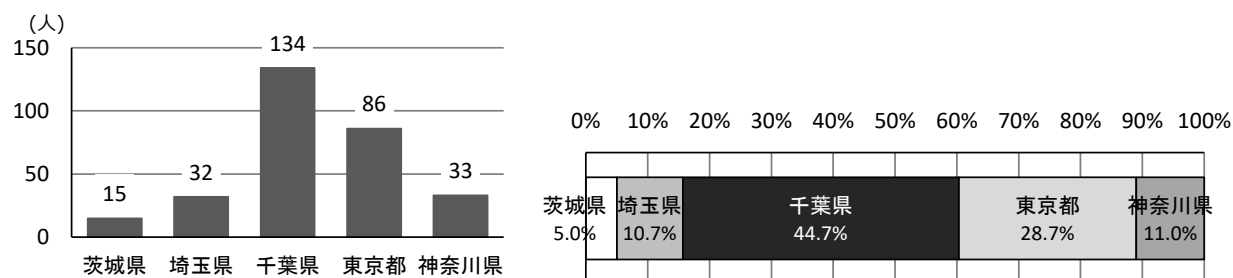


図2 回答者の居住地 (n=300)

## (3) 職業

・「常勤の勤め人」が155人（全体の51.7%）と最も多く、次いで、専業主婦(夫)が47人（15.7%）などとなっています。

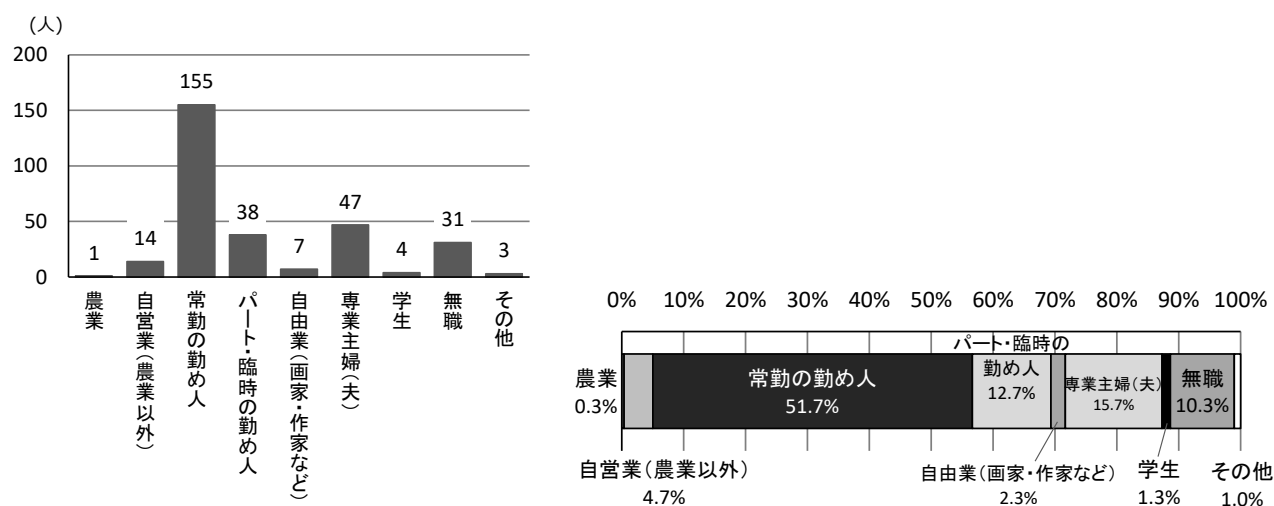


図3 回答者の職業 (n=300)

## 1.3 印西市への来訪状況

### (1) 来訪目的

・「趣味・娯楽・食事・習い事」の割合が33.0%と最も高く、次いで、「日常の買い物」17.3%、「業務」16.7%などとなっています。

・趣味・娯楽や買い物の割合が高いことは、北総線沿線に大規模商業施設が多く立地していること、また、業務の割合も高いことは、千葉ニュータウン地区内に企業が多く立地していることによるものと考えられます。

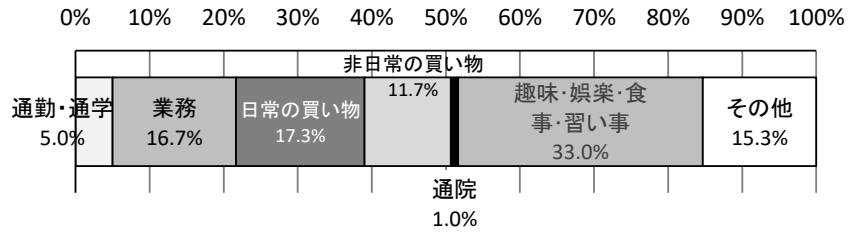


図 4 印西市への来訪目的 (n=300)

(2) 来訪頻度

・「年数回」の割合が 47.0%と最も高く、次いで、「はじめて」36.7%、「月数回」10.0%などとなっています。従って、アンケート回答者は、印西市の交通事情がよくわからない人が多いものと考えられ、このことを踏まえて後段のアンケート結果を見ていく必要があります。

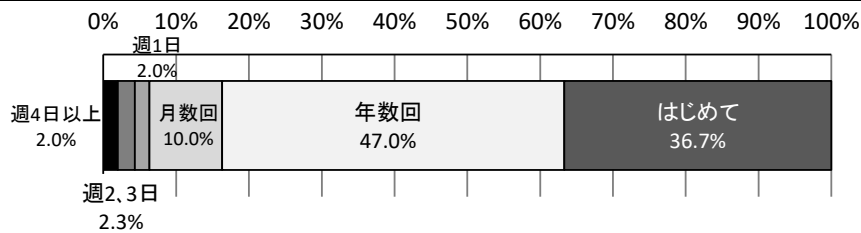


図 5 印西市への来訪頻度 (n=300)

(3) 出発地

・居住地と同じく、千葉県が最も多く、次いで東京都などとなっています。  
 ・千葉県を市町村別で見ると、千葉市 18 人、船橋市 15 人、松戸市・柏市 13 人などとなっています。

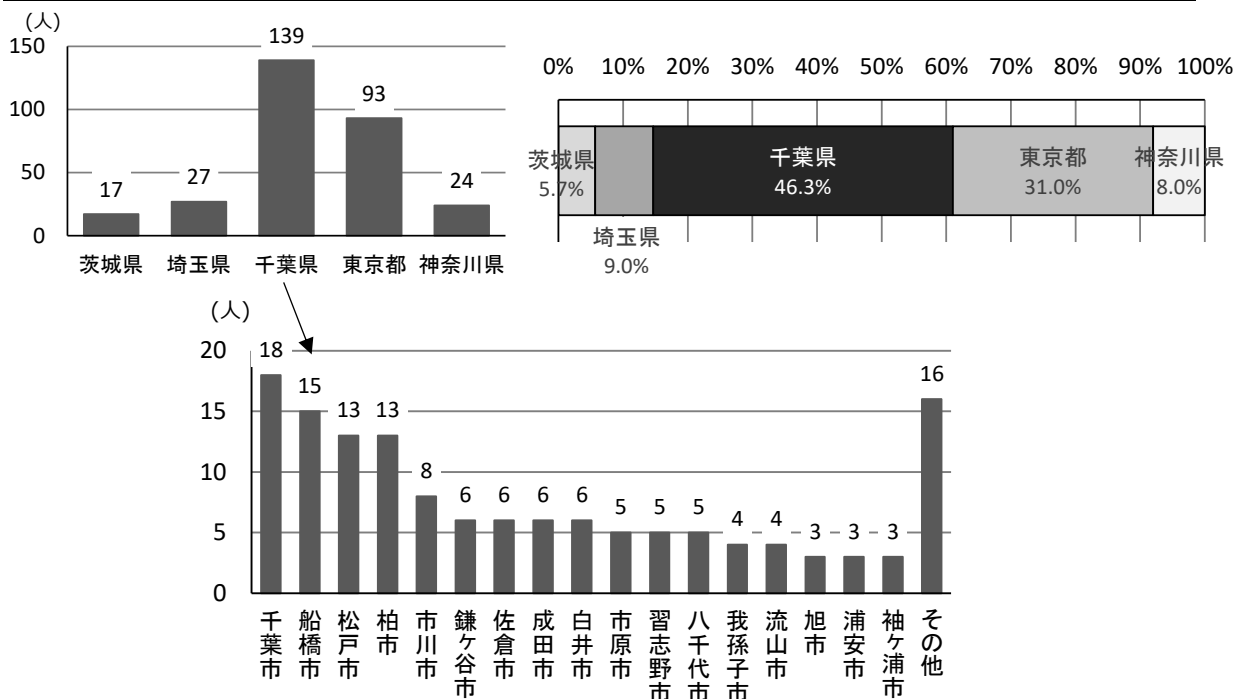


図 6 印西市へ来訪時の出発地 (n=300)

#### (4) 目的地【利用交通手段；計】

- ・商業施設への来訪が92人と最も多く、次いで観光地（印旛沼など）15人、住宅（知人等の家）12人、事業所10人などとなっています。
- ・地区や駅で見ると、牧の原が40人と最も多く、次いで中央北20人、原19人、千葉ニュータウン中央駅16人、泉野12人、印旛沼10人などとなっています。
- ・具体的な施設名で見ると、ジョイフル本田が29人と最も多く、次いでイオン・イオンモール19人、ビッグホップ16人などとなっています。
- ・このように、来訪先は北総線沿線の大規模商業施設が目立ちます。

【地区名・駅名】		【施設名】		【施設区分】	
行先地区名・駅名	回答者数	施設名	回答者数	施設区分	回答者数
牧の原	40	ジョイフル本田	29	商業施設	92
中央北	20	イオン、イオンモール	19	観光地	15
原	19	ビッグホップ	16	住宅	12
千葉ニュータウン中央駅	16	知人等の家	12	事業所	10
泉野	12	印旛沼	10	医療施設	7
印旛沼	10	コストコ	8	ゴルフ場	5
大森	9	事業所	7	飲食店	4
印西牧の原駅	5	商業施設	5	公共施設	4
西の原	5	ゴルフ場	3	レジャー施設	3
印旛日本医大駅	4	印西市役所	3	文化施設	3
木下	4	飲食店	3	スポーツ施設	2
鎌苅	3	家具店	3	金融機関	2
小林	3	日本医大千葉北総病院	3	公園	2
浦部	2	ホームセンター	2	寺社	2
岩戸	2	松山下公園	2	物流施設	2
その他	16	病院	2	その他	4
不明、無効、特になし	130	牧の原モア	2	不明、無効、特になし	131
合計	300	その他	40	合計	300
		不明、無効、特になし	131		
		合計	300		

表 1 印西市へ来訪時の目的地【利用交通手段；計】

#### (5) 目的地【利用交通手段；鉄道】

- ・鉄道での来訪は77人（全体の25.7%）で、来訪先の施設は、商業施設11人、住宅7人、事業所4人、公共施設3人などとなっています。
- ・地区名・駅名では千葉ニュータウン中央駅が10人と最も多く、次いで牧の原8人など、また、具体的な施設名では、知人等の家が7人と最も多く、次いでビッグホップ、ジョイフル本田、事業所などとなっています。
- ・このように、鉄道での来訪先は北総線沿線地域が目立ちます。

【地区名・駅名】		【施設名】		【施設区分】	
行先地区名・駅名	回答者数	行先地区名・駅名	回答者数	行先地区名・駅名	回答者数
千葉ニュータウン中央駅	10	知人等の家	7	商業施設	11
牧の原	8	ビッグホップ	4	住宅	7
印西牧の原駅	5	ジョイフル本田	3	事業所	4
原	5	事業所	3	公共施設	3
大森	5	イオン、イオンモール	2	医療施設	2
印旛沼	2	印西市役所	2	観光地	2
印旛日本医大駅	2	印旛沼	2	金融機関	2
中央北	2	その他	15	文化施設	2
その他	9	不明、無効、特になし	39	その他	5
不明、無効、特になし	29	合計	77	不明、無効、特になし	39
合計	77			合計	77

表 2 印西市へ来訪時の目的地【利用交通手段；鉄道】

## (6) 目的地【利用交通手段；路線バス】

・路線バスでの来訪は17人（全体の5.7%）で、来訪先の施設は、商業施設、観光地などとなっています。地区名・駅名では中央北4人、牧の原2人、具体的な施設名ではイオン・イオンモール4人などとなっています。

【地区名・駅名】		【施設名】		【施設区分】	
行先地区名・駅名	回答者数	行先地区名・駅名	回答者数	行先地区名・駅名	回答者数
中央北	4	イオン、イオンモール	4	商業施設	5
牧の原	2	事業所	1	観光地	2
印旛沼	1	印旛沼	1	研修施設	1
印旛日本医大駅	1	観光地	1	事業所	1
小林	1	研修施設	1	不明、無効、特になし	8
不明、無効、特になし	8	商業施設	1	合計	17
合計	17	不明、無効、特になし	8		
		合計	17		

表 3 印西市へ来訪時の目的地【利用交通手段；鉄道】

## (7) 来訪時の利用交通手段

### 1) 来訪時の利用交通手段

・自動車での来訪割合が66.3%と最も高くなっています。そのほか、鉄道25.7%、路線バス5.7%などとなっています。

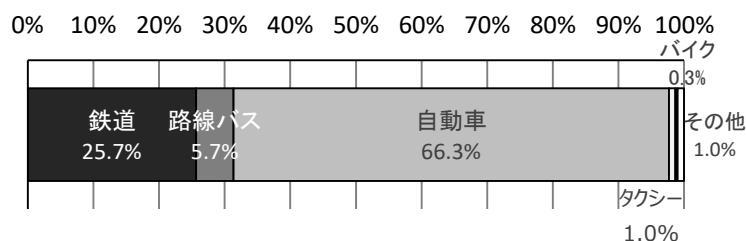


図 7 来訪時の利用交通手段 (n=300)

### 2) 鉄道利用者の降車駅

・鉄道利用者の降車駅は、印西牧の原駅が25人と最も多く、次いで千葉ニュータウン中央駅14人、木下駅5人、印旛日本医大駅4人などとなっています。

降車駅名	回答者数
印西牧の原	25
千葉ニュータウン中央	14
木下	5
印旛日本医大	4
京成臼井	2
京成佐倉	1
京成酒々井	1
勝田台	1
小林	1
白井	1
不明、無効	22
合計	77

表 4 鉄道利用者の降車駅

### 3) 鉄道利用者の駅端末交通手段（鉄道駅から目的地までの交通手段）

・駅で降車し目的地までの交通手段は、徒歩の割合が 44.2%と最も高く、次いで路線バスが 31.2%、ふれあいバスは 7.8%となっています。市民アンケートでは、路線バス利用割合が 10%程度と低いことと比べると、市外からの来訪者にとって駅からの移動手段としてバスは重要な役割を担っていると言えます。

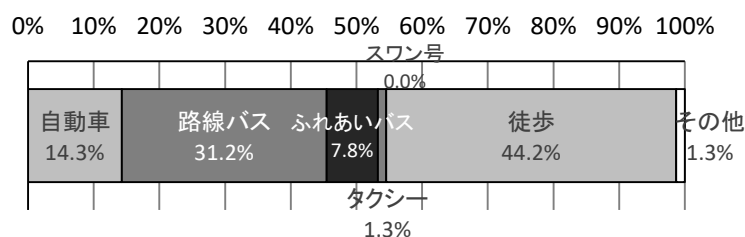


図 8 鉄道利用者の駅端末交通手段 (n=77)

### 4) バス利用者の乗車・降車バス停

・バス利用者は、主として、駅から目的地へ向かっているという利用が多くなっています。なお、乗車した駅のバス停は、千葉ニュータウン中央駅、印西牧の原駅が多くなっています。

乗車バス停	降車バス停	回答者数
布佐駅	千葉ニュータウン中央北	1
木下駅	平岡官堤	1
木下駅	市役所	1
木下駅	大森坂上	1
小林駅	小林牧場	1
安食駅	(不明)	1
新鎌ヶ谷駅	千葉ニュータウン中央駅	3
千葉ニュータウン中央駅	高花二丁目	1
千葉ニュータウン中央駅	大塚三丁目	1
千葉ニュータウン中央駅	日医大千葉北総病院	1
千葉ニュータウン中央駅	発作	1
千葉ニュータウン中央駅	(不明)	1
印西牧の原駅	印旛明誠高校	1
印西牧の原駅	ジョイフル本田	1
印西牧の原駅	ショッピングモール	1
印西牧の原駅	原	1
印西牧の原駅	市役所	1
印西牧の原駅	竜腹寺東	1
印西牧の原駅	(不明)	4
京成臼井駅	ふるさと広場	1
京成酒々井駅	順天堂大学	1
本埜支所	角田入口	1
(不明)	印西牧の原駅	1

表 5 路線バス利用者の乗車・降車バス停

(8) バス利用の満足度（バス利用者）

- ・「満足」「やや満足」を合わせると、「車内混雑」の割合が 59.6%と最も高く（混雑していない又は許容できる混雑状況であること）、次いで「経路・バス停位置」と「定時性」が 51.1%、「案内情報」51.0%の順となり、50%を超えています。
- ・「不満」「やや不満」を合わせると、「運行本数・ダイヤ」に対する不満が 31.9%と最も高く、次いで、「乗り継ぎ」21.3%、「運賃」19.2%、「バス待ちの快適性」17.0%の順となり、15%を超えています。
- ・以上から、市外からの来訪者にとっては、特にバスの運行本数やダイヤに不満があると言えます。

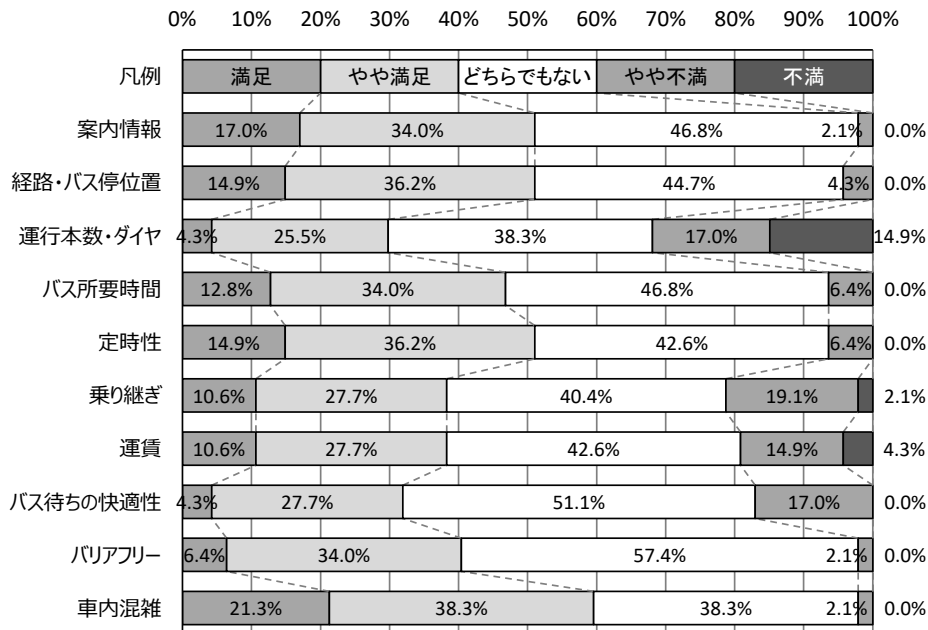


図 9 バス利用の満足度 (n=47)

(9) バスを利用しない理由（バス非利用者）

- ・他の交通手段を利用でき、バスを利用する必要がなかったとする回答が 253 人中 178 人と最も多くなっています。

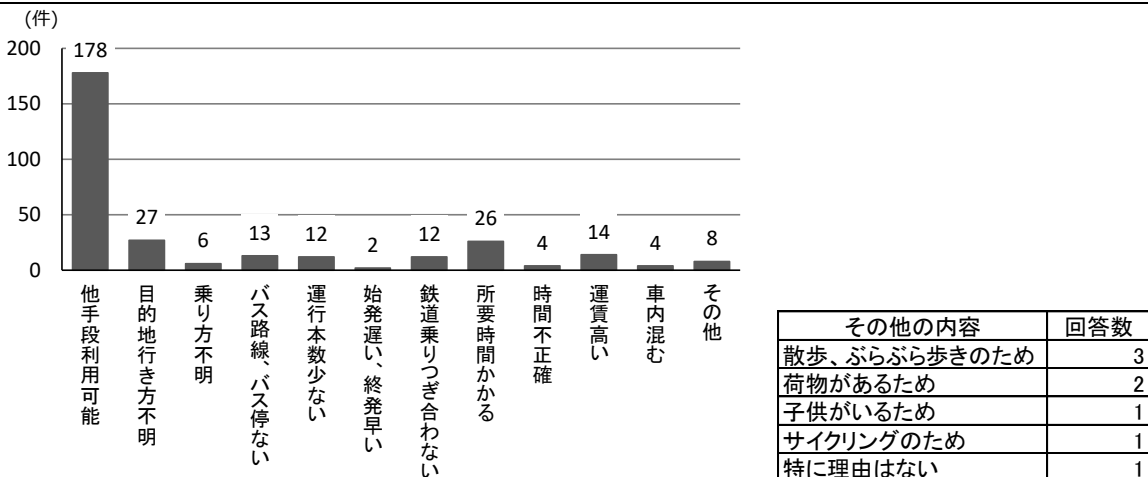


図 10 バスを利用しない理由 (n=253) (複数回答(3つまで))